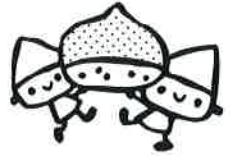


お祭り 中りぐみ

9.10月



いずみがもり(!!)への日々...

9月のある日... "エホ"は突然、中りぐみの部屋に届きました。

「先生!! なんかつんぼ(鳥)についてる...!」「羽た! 羽もついてる...」

「つんぼ」についていたのは「中りぐみへ」と書かれた手紙。「お祭りのたね」を育ててくれたお礼と、

「いつも応援しているよ」とのメッセージがありました。最後に書かれたシロエト(絵)に、「カラスだ!」

「こわ(『カラスのはんやせん』)と一緒に!」と、早速推理をついに回転していた、中りぐみの子どもたち。

「だって、魔女とカラスは友達なんだよ」「(お祭りのたね)落ちていてくれたんだ...」——この中りぐみに

起こった“大事件”から、園庭へ出れば早速見上げ、地面に落ちている羽を目ざとく見つける、おもたすです。

つい先日、小さなカラスの羽を見つけたのが合図のおに(!!) 2通目の手紙が...。今回は絵だけの内容でしたが、描かれた“鉄棒”や“うんてい”、“木馬”の絵に「早く見つけた...」と、フボやくもも。「かえりマーク(→照)」と「品」を見つけて、「かえりたら おごいんだ!」「(最初は)困っても(笑)でまってる!」一送り主の意図の上をいく、子どもたちの「〜かもしれない?」の発想に、驚くやら感心するやら...の1コマでした(笑)

中りぐみ会議

ところで、9月に入ってすぐ、子どもたちには「運動会」があとこと。

「お家の人が みんなのかわいい所を見にくること」を話しました。大人の中では色々考えていたことはあったものの、子どもたちは何を一番見てほしいと思っているのか、子どもたちは「運動会」をどう捉えているのか、知れたためたのです。おと子どもたちの方から「うんてい”、“木馬”がしたいと、声が挙がって、最近挑戦し始め夢中になっている“横こび(ビュルビュル)”もいいなという意見も出て、「子どもたちのやりたいこと」を取り入れたサーキットの内容が作られました。さくらぐみの時と違って、ごこの世界は好きだけれど「現実とは違うこと」も気づいてきている中りぐみ。「運動会どこでどこに行きたい?」と尋ねると、「じゃあ...『いずみがもり』は?」と異が出て、サーキットに続く後半は“木馬”をおとすることがわかると、「じゃあ“木馬”のもりたね!」と決まりました。「いずみがもり」あるのかな? (本当にあったらいいのに...)のイメージで、競技に取りくわります。

「うんてい」と“木馬”...特に“木馬”は、1度乗っても園庭に続けて出ら

れないと乗り方がわからなくなるなり、「怖さ」が出てきてしまたり。

行きつ戻りつおと中“今の姿”になっています。(やむを得ないかも...でも!)

(女たちが応援してくれている...だから!)と、たしあんの気持ちを立て

直し、向かい合ってきました。中りぐみの子どもたち。子どもたちの

当日見せる“かわいい所”はエホエホですが、そこに至るまでの

子どもたちの頑張りの含めて、見せて頂けたらと思います(笑)

お知らせ

10/18(金)は

「運動会打ち上げクッキング」の予定ですよ!

女廊下の水色のわごのちに「アロン」・「三角巾」・「マスク」を入れておいて下さい

